第2章 施策別計画

基本計画の見方

序論

基本構想

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

資料編

基本構想を実現していくための「政策」の名称です。

政策実現の手段となる「施策」の名称です。

施策を実施することでめざす将来の姿です。

1 暮らしを支える快適なまちづくり
【都市基盤の整備】

1-1 地域核をネットワークする都市整備の推進

施策のめざす姿
地域核の拠点機能及びネットワークが形成され、利便性が向上します。

施策の成果指標

指標名	現状値	めざす値	成果指標の方向性
都市施設（道路、公園、排水路、駅周辺）の満足度	53.4%	54.0%	都市施設の利便性の向上を図ります。

施策の基本方針（環境変化と課題）

- ◆ 国・県道においては、市街地における国道126号とそれに接続する県道の渋滞緩和が、通学路や生活道路では安全に通行できる環境整備が、それぞれ求められています。加えて、成田空港の機能強化に伴い、成田空港方面へのアクセス改善や、産業振興を視野に入れた道路環境の改善が必要となっています。
- ◆ 排水路等を含む道路施設や公園施設については、適正な管理が求められ、定期的な調査や修繕が必要となっています。
- ◆ 駅周辺の市街地については、人口が微減する一方、高齢化が進んでいることから、駅周辺の中心市街地の活性化や、利便性の向上を図る必要があります。その他の地域では、人口減少に伴い増加している空家への対策等を通じて、秩序あるまちなみ形成につなげる必要があります。

前総合計画期間の施策の成果指標推移

前総合計画における施策の成果指標の推移をグラフで示しています。

「施策」のめざす姿の達成度（成果）を示す指標（モノサシ）です。

第2次総合計画策定時〔平成29（2017）年度〕における現状値です。なお、市民アンケートによる指標値は、平成30（2018）年5月に取得しています。

第2次総合計画の終了年度〔平成34（2022）年度〕までに達成をめざす値です。

施策のめざす値の設定の考え方を示しています。

施策のめざす姿を実現するに当たっての課題や方向性を示しています。

施策実現の手段となる「基本事業」の名称です。

基本事業を実施することでめざす将来の姿です。

基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざす値	成果指標の方向性
1 重点 道路網の整備・維持管理	道路・橋りょうの整備、適切な維持管理で安全に通行でき、利便性が向上します。	道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	0km	8km	地区要望を踏まえた計画に基づき、着実に事業を推進することで、利便性向上を図ります。
		道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	0件	0件	定期的な点検や維持補修、機能保全等の対策を行うことで、瑕疵による損害賠償件数0件を目指します。
2 重点 成田空港周辺地域としての基盤整備	成田空港周辺地域として共存共栄が図られています。	成田空港関連事業実施箇所数（延べ）	0箇所	48箇所	地区要望を踏まえ計画的に事業を推進し、道路利用者の安全確保と利便性向上を図ります。
3 浸水対策の推進	排水路新設や雨水排水管等により床上浸水が減少しています。	床上浸水件数	0件	0件	浸水対策を進め、床上浸水件数0件を目指します。
4 重点 駅周辺の利便性の向上	駅周辺の利便性が向上します。	駅周辺の利便性に対する満足度	40.8%	43.0%	成東駅南口線整備促進事業の進捗率の向上を図り、利便性向上を図ります。
5 公園の適正な管理	適正に維持管理され、長寿命化が促進されます。	都市公園長寿命化進捗率	0.0%	40.3%	健全度調査に基づき、施設の修繕等を行い成果向上を目指します。
		公園の維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	0件	0件	公園施設の適正な管理を実施し、管理瑕疵による損害賠償件数0件を目指します。
6 重点 まちなみ・家屋・土地の適正な管理と有効活用	まちなみ・家屋・土地が適正に管理、活用されています。	空家対策数	0件	66件	空家における利活用の促進や管理不全空家の対策を行い、空家対策を促進します。
		景観条例指導件数	1件	0件	景観形成基準の周知徹底により、景観条例指導件数0件を目指します。

序論
基本構想
基本計画
政策1
政策2
政策3
政策4
政策5
政策6
資料編

「基本事業」のめざす姿の実現具合を測る指標（モノサシ）、現状値、基本計画の終了年度〔平成34（2022）年度〕までの目標値、その設定の考え方を示しています。

第2次総合計画での重点分野を示しています。

施策内の用語解説です。

用語解説	
生活道路	: 国道や県道、広域農道といった広域幹線道路や、主要市道（1・2級）である幹線道路以外の市道のことです。
空家対策	: 平成29年度時点の市内空家数は681件あり、周辺環境への影響から管理不全のものについては、対策を講じる必要があります。

めざす値は、次の考え方に基づいて設定しています。

重点分野	政策的に成果を向上させることをめざし、重点的な予算確保や既存事業の見直しによる改善、新たな事業展開を図るため、高い水準で目標値を設定します。
通常事業	選択と集中の観点から、法令及び安全面からの対応等を除き、現在の事業内容により、維持向上を図る水準で目標値を設定します。

※目標を定めることにより望ましくない状況を生む指標については、めざす値を「－」表記としています。